

# グリーンケミカル(株)の補助金不正受給疑惑について

事業主体として木質バイオマス利活用プラント事業(以下「事業」)を進めてきたグリーンケミカル(株)(以下「GC社」)が、国からの補助金を不正に受給した疑いがあるとの内容が昨年12月29日、NHKのニュース番組で報じられました。

市は、この報道を受けて事実関係の確認を行い、不正が確認されたため、厳正な対応をとることとしました。

林業振興課木質バイオマス係 ☎0824-73-1130

## NHKの報道内容

- ◆事業で必要となる機械設備を業者から約5億円で購入したと市へ申告し、3億円余りの補助金を受給した。
- ◆しかし、機械設備はGC社の関連会社である(株)コスモエース(以下「コスモ社」)から原価約9,000万円で直接購入しており、その差額はコスモ社の利益となっていた。
- ◆東京国税局は、この利益(2億6,000万円)を所得隠しとして指摘。補助金の大半をGC社の借金返済にあてるため、グループ会社の間で設備の代金を不正に水増しした疑いがあると見ている。
- ◆コスモ社はこの指摘に対し「修正申告に応じている。設備の代金は適正に申告しており、水増していない」と話している。
- ※コスモ社、GC社および(株)ジュオンはグループ会社。

## 1 問題の事業

工事名	粉碎処理設備設置工事
事業実施主体	グリーンケミカル(株) (本社:庄原市是松町20番4号)
事業年度	平成20年度
事業費	5億3,869万2千円
補助金	2億5,662万円
契約先	大阪市の製造会社
主な対象機械	木材チップを微粉碎する 振動ミル2台

※市は平成20年度、右記の工事と別の工事も含めた事業費6億5,983万円に対し、補助金3億1,420万円をGC社へ交付

## 2 市の事業実施把握状況

◆問題の事業は、入札によりGC社と大阪市の製造会社が5億3,869万2千円で契約を締結し、その契約書が市へ提出されています。しかし、GC社がコスモ社から直接仕入れるという報告は受けていません。

【これまでの市への報告内容】※機械の発注ルート

GC社 → 大阪市の製造会社 → 東京都の製造会社

【NHKの報道内容】

GC社 → 大阪市の製造会社 → コスモ社 → 東京都の製造会社

直接仕入れ

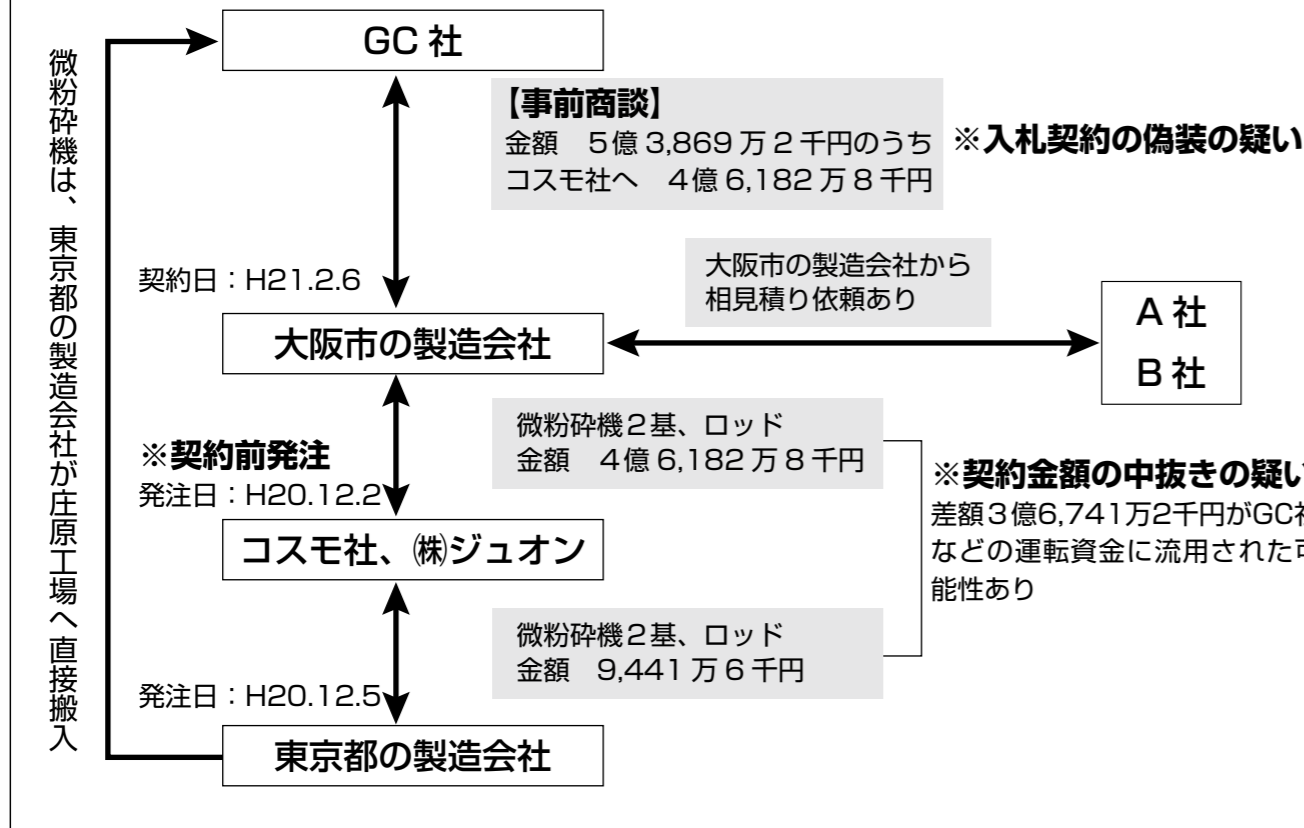
【報道後、GC社の西本清宏代表取締役および各社へ聞き取りした内容】

GC社 → 大阪市の製造会社 → コスモ社 → 東京都の製造会社  
(株)ジュオン →

◆市の完了検査では、GC社と大阪市の製造会社の立会いのもと、機械の製造を確認しています。

◆契約代金の支払は、契約どおり5億3,869万2千円がGC社から大阪市の製造会社へ振り込まれたことを実績報告書により確認。交付決定の内容に適合すると判断したため、平成20年度補助金を支出してしま

## 市が確認した内容の概要図



## 3 事実確認

報道を受け、市はGC社の西本清宏代表取締役や関係会社へ聞き取りを行い、次の内容を確認しました。

- ◆GC社が行った入札結果による契約であると報告されていたが、実際にはGC社と大阪市の製造会社の間で事前商談が行われ、市へ報告されていた契約日以前に大阪市の製造会社からコスモ社へ発注されていた。
- ◆入札は、3社の見積り入札を行ったかのように偽装されていた。
- ◆GC社と大阪市の製造会社の契約金額5億3,869万2千円のうち、4億6,182万8千円を、大阪市の製造会社がGC社の関連会社であるコスモ社へ支払った。

◆機械設備は、(株)ジュオンおよびコスモ社が東京都の製造会社へ9,441万6千円で発注し、完成後には、発注した両社を経由せず直接GC社庄原工場へ搬送した。

## 4 事実確認の結果と対応

市は現在も事実関係の確認を進めています。契約や発注に不正行為が確認されたことから、1月20日に告訴を行いました。

現時点では警察の捜査など詳しいスケジュールが分かっていますが、市は

必要となる対応について引き続き顧問弁護士と協議しています。

### (1) 事業取消と補助金返還

告訴状が受理されたため、市は不正行為の事実確認により、GC社に対して事業の取り消しと補助金返還命令を、国と協議して行う予定です。

なお、市から国への補助金返還は、国と協議していきます。

### (2) 民事再生

予定している事業取り消しを行った場合、民事再生による事業継承は不可能となります。

今後は、捜査と併行して、破産手続きを検討していきます。

### (3) スポンサー候補による事業継続

スポンサー候補は、民事再生であれば破産後の競売であれ、事業継続に強い関心を持っており、早急に試験運転、試作品製造を行い、売り先との交渉を進めたい意向を持っています。

このような事態が生じたことは誠に遺憾であり、市民の皆さまをはじめ関係各方面の皆さまに大変なご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

今後、二度とこのようなことが起こらないよう、再発防止に全力で取り組んでまいります。